

コミュニティ政策学科設立10周年記念講演会 「憲法と資本主義の現在」

～「百年に一度の危機」のなかで考える～

私たちは、長期にわたる経済不況と財政破綻の状況下で企業倒産や未曾有の就職難、またそれに伴う生活の破綻や自死者の増大など人間存在の危機ともいうべき、「百年に一度の危機」の中にいる。何がその要因なのか。

日本国憲法は、今回のように資本主義体制がしばしば国民の多数を塗炭の苦しみに追い込んできた状況から守る原理・制度を本来持つ現代資本主義憲法である。今や、このことを再確認して、「危機」への適格な対応策をともに考える時である。

市場原理主義の世界化と軍拡を抑止し、「平和国家」と「社会国家」(福祉国家)の具体化をはかることが何よりも大事なことと思う。そのためには、中央政府の民主化と地方自治の強化が不可欠となる。危機のときにこそ大学とその学問の存在理由が問われている。

■講演者プロフィール



杉原 泰雄 (すぎはら やすお)

一橋大学名誉教授

一橋大学名誉教授。1930年生。一橋大法学研究科博士課程修了(法学博士)。同法学部専任講師、助教授、教授を経て法学部長。この間、東京大学等でも教鞭。駿河台大学名誉教授。全国憲法研究会元代表。主著に『国民主権の研究』(岩波書店)、『人民主権の史的展開』(岩波書店)、『国民主権の史的展開』(岩波書店)、『平和憲法』(岩波書店)、『憲法と国家論』(有斐閣)、『地方自治の憲法論』(勁草書房)、『憲法と資本主義』(勁草書房)、『憲法と資本主義の現在』(勁草書房)。

■コーディネーター 阿久戸 光晴 (聖学院大学学長)

2010年11月17日(水)11:00～12:30

会場：聖学院大学チャペル 〒362-8585 埼玉県上尾市戸崎1-1
(JR高崎線宮原駅よりスクールバスで7分、またはJR埼京線西大宮駅よりスクールバスで10分)

■次回講演会のお知らせ

コミュニティ・リーダーによるシンポジウムー「地域コミュニティに生きる」

日時：12月1日(水) 11:00～12:30 会場：聖学院大学チャペル

パネリスト：赤間 正勝氏 (さいたま北商工協同組合理事長)
高橋 良氏 (まちづくり協議会クローバー会長)
長澤 義治氏 (戸崎まちづくり協議会会長)
富沢 賢治氏 (コミュニティ政策学科初代学科長)



Love God and Serve His People

聖学院大学

【お問合せ先】 企画総務課

事前申込は不要です。

TEL. 048-781-0925

FAX 048-726-2962

http://www.seigakuin.jp E-mail pru@seig.ac.jp